

# 私と患者運動と不知火海の年表

<p>1950年 新潟県中頸城郡吉川町大賀（現在は上越市）に生まれる 69年 水産大学校入学  71年 水産大学校中退 水俣に移り住む 72年 侍の家 スタッフとなる</p>	<p>68年 9月 政府、水俣病について正式見解（公害認定） 69年 6月 水俣病患者家庭互助会訴訟派29世帯112人提訴 70年 8月 川本さんら行政不服審査請求 71年 8月 川本さんら棄却処分取り消しの採決 8月 環境庁事務次官通知 11月 川本さんら自主交渉派チッソ前に座り込む 12月 東京本社座り込み・社長交渉</p>	
<p>74年 水俣病センター相思社設立 職員となる  75年 「二セ患者発言」抗議行動で逮捕・起訴</p>	<p>73年 3月 水俣病一次訴訟判決 7月 補償協定書調印 74年 8月 水俣病認定申請患者協議会結成 12月 不作為訴訟提訴 75年 8月 熊本県議会議員「二セ患者発言」 76年 12月 不作為訴訟判決・原告側勝訴確定 77年 5月 申請協・不知火海沿岸各地で送信性運動を開始 78年 12月 申請協待たせ賃訴訟提訴 80年 3月 暴行裁判有罪判決・名誉毀損判決は原告勝訴 83年 7月 熊本地裁 原告勝訴 85年 11月 福岡高裁 原告勝訴 88年 5月 チッソ交渉団 チッソとの交渉始まる 9月 チッソ前座り込み開始 9月 公調委・原因裁定の申し立てを不受理と決定</p>	<p>74年 1月 県、水俣湾で仕切り網設置 8月 ヘドロ処理事業の計画が了承される 75年 4月 水俣湾内の操業禁止</p>
<p>88年 相思社を退職 魚の移動販売（行商）を始める  89年 「甘夏事件」理事が総辞職 職員も夫々の道を歩き出す</p>	<p>91年 4月 待たせ賃訴訟・最高裁は二審判決破棄差し戻し  95年 9月 政治決着への道始まる 4月 患者連合・チッソとの紛争終了の協定書調印</p>	<p>77年 10月 ヘドロ処理事業を開始（仕切り網設置作業開始） 12月 不知火海沿岸住民1817名ヘドロ工事差し止めの仮処分申請 80年 4月 ヘドロ仮処分判決・却下 6月 ヘドロ処理工事再開  90年 3月 ヘドロ処理事業終了</p>
<p>97年 水俣魚市場の鮮魚商組合に加入</p>		<p>95年 4月 仕切り網撤去  97年 10月 水俣市漁協自主規制を解除</p>